

振り返りの工夫

1 単位時間や単元を通した振り返りの時間を設ける

1年生 国語科「くじらぐも」（文学的文章）



授業の終わりに、1単位時間の学習を振り返ってノートに書かせることで、自分の学びを強化し、再構築できるようにした。

また、単元の終末にも振り返りの時間を設定することで、単元を通して学んだことを書かせ、読みの深まりを実感させた。

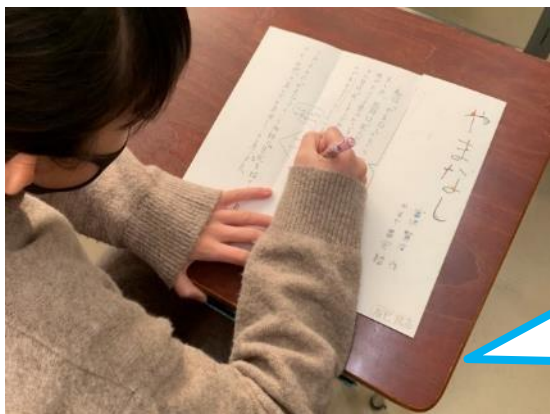
4年生 国語科「一つの花」（文学的文章）

4年生の国語科「一つの花」では、「自分はどうか」という観点で振り返ることで、自分の考えをもたせた。

学習の終わりには、自分の体験や既習の内容と結び付けて、理由をもって自分の考えを書くことができるようにした。



6年生 国語科「やまなし【資料 イーハトーブの夢】」（文学的文章）



単元を通した振り返りの時間を設け、リーフレットの作成を行った。

リーフレットには、自分が捉えた世界観や自分の考えを記述させた。

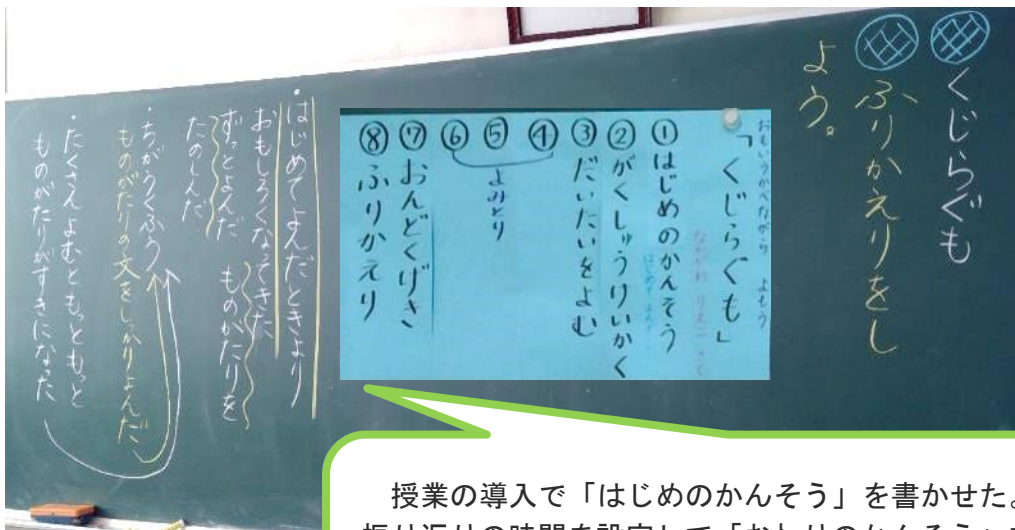
3年生・4年生・5年生・6年生 算数少人数

1単位時間ごとに、本時のめあてに対してどのようなことを学んだのか振り返りの時間を設定した。その際、「〇〇さんの考えは～が良い。」「友達の～という意見が良かった。」などの話型を使うことも児童に提示した。

結果として、次時の自力解決の際、友達の考えを次の学習で当てはめる等、表現の幅が広がったり友達の意見をよく聞こうとしたりする姿が見られた。

振り返りを記述させて初めの考えと比べて変容や読みの深まりを実感させる

1年生 国語科「くじらぐも」（文学的文章）



授業の導入で「はじめのかんそう」を書かせた。単元の終末にも振り返りの時間を設定して「おわりのかんそう」を書かせることで、単元を通して学んだことを読み比べて、変容や読みの深まりとしての再構築を実感させるようにした。

4年生 国語科「一つの花」（文学的文章）

4年生の国語科「一つの花」では、「自分はどうか」という観点で振り返らせ、自分の考えをもたせた。

単元の終わりにはどのくらい作品の理解が深まったか、単元で設定した目標に近づいたのかを振り返らせた。

自分の考えを再構築させ、目的意識や学習意欲の向上につなげた。

